



20

げつようび

やんでいる よのなかを いやす ほうほう

エペソ

6章 10～13節

終わりに言います。主^{しゅ}にあって、その大能^{たいのう}の力^{ちから}によって強^{つよ}められなさい。悪魔^{あくま}の策^{さく}略^{りやく}に
対^{たい}して立ち向^むかうことができるために、神^{かみ}のすべ^つての武^ぶ具^ぐを身^みに着^きけなさい。私^{わたし}たちの
格闘^{かくとう}は血^{けつ}肉^{にく}に對^{たい}するものではなく、主^{しゅ}権^{けん}、力^{ちから}、この暗^{くら}やみ^みの世^よ界^{かい}の支^し配^{はい}者^{しゃ}たち、また、
天^{てん}に在^あるもろもろの悪^{あく}霊^{れい}に對^{たい}するものです。(10～12)

多くの人^{おほい}がうつ病^{びょう}、双極性障^{そうきょくせいしょうがい}害^{がい}（躁^{そう}うつ病^{びょう}）のよう^{よう}な心^{こころ}の病^{びょう}氣^きを抱^{かか}えながら生^い
きています。特^{とく}に精^{せい}神^{しん}問^{もん}題^{だい}や自^じ殺^{ころ}など^{など}に關^{かん}する問^{もん}題^{だい}は、メ^めディ^あア^あを通^としてた^たくさ^さん見^み聞^き
きすでし^しょう。このよう^{よう}な心^{こころ}の病^{びょう}氣^きは、他^{ほか}の人^{ひと}のこ^こと^とば^ばや問^{もん}題^{だい}のた^ために受^うけた傷^{きず}
を何^{なん}ども繰^{かえ}り返^{かえ}し考^{かんが}えること^{こと}によ^よって始^{はじ}まりま^ます。正^{ただ}しい判^{はん}断^{だん}がで^でき^きないほ^ほど、心^{こころ}、考^{かんが}
え、精^{せい}神^{しん}が弱^{よわ}くな^なって現^{あらわ}れる病^{びょう}氣^きです。これ^{これ}はすべ^つて靈^{れい}的^{てき}問^{もん}題^{だい}が原^{げん}因^{いん}です。また、罪^{つみ}
とサ^さタン^{たん}を背^{せい}景^{けい}と^とする根^{こん}本^{ぽん}問^{もん}題^{だい}から^から^らのこと^{こと}です。宗^{しゅう}教^{きょう}や臨^{りん}床^{しょう}心^{しん}理^り学^{がく}のよう^{よう}な人^{ひと}
のほうほう^{ほうほう}では解^{かい}決^{けつ}でき^きません。このよう^{よう}に病^{びょう}氣^きにな^なって^てい^いる世^よの中^{なか}をいや^いすほうほう^{ほうほう}は、た^ただ
神^{かみ}様^{さま}のみこ^こと^とば^ばだけ^{だけ}です。です^{です}から、すべ^つての問^{もん}題^{だい}を神^{かみ}様^{さま}のみこ^こと^とばと照^てらし合^あわ^わせて
み^みな^なければ^ばなり^りませ^せん。その^{その}と^とき、みこ^こと^とば^ばで新^{あたら}しい悟^{さと}りと答^{こた}えを受^うける^くよう^{よう}にな^なり
ま^ます。

それ^{それ}と同時^{どうじ}に、医^い学^{がく}的^{てき}、科^か学^{がく}的^{てき}、靈^{れい}的^{てき}に、なぜ^{なぜ}この^{この}よう^{よう}な問^{もん}題^{だい}が^がきた^{きた}のか^かを^を知^しら^らな^なけ^け
れば^ばなり^りませ^せん。そ^そして、問^{もん}題^{だい}を持^もつ人^{ひと}々^々に彼^{かれ}ら自^じ身^{しん}が^がい^いま^まど^どん^んな状^{じょう}態^{たい}な^なのか^かを^を知^しら^ら
せ^せて、みこ^こと^とばと祈^{いの}りに集^{しゅう}中^{ちゅう}する^{する}よう^{よう}に助^{たす}ける^{べき}です。最^{さい}後^ごに、私^{わたし}を^をいや^いさ^された
キ^きリス^{りす}ト^との証^{しょう}人^{にん}として^{して}他^{ほか}の人^{ひと}を助^{たす}ける^{なら}ば、い^いやし^しが起^おき^きま^ます。人^{ひと}の^の話^{はなし}と問^{もん}題^{だい}を
神^{かみ}様^{さま}のみこ^こと^とばに照^あら^らして^{して}神^{かみ}様^{さま}の計^{けい}画^{かく}を見^みつけ^{つけ}ま^まし^しょう。

きょうのみことば

Handwriting practice lines for the daily verse.

きょうのいのり

神^{かみ}様^{さま}、あ^あり^りが^がと^とうご^ござ^ざい^います。神^{かみ}様^{さま}のみこ^こと^とばによ^よって病^{びょう}ん^んで^でい^いる世^よの中^{なか}を
い^いやし^しレ^レム^ムナ^ナント^{ント}に^にな^なる^るよう^{よう}に導^{みちび}いて^{いて}くだ^{くだ}さい。生^いきてお^おら^られるイ^いエ^えス^す・キ^き
リ^りス^すト^とのお^おな^なま^まえ^えによ^よってお^お祈^{いの}り^りし^しま^ます。ア^あー^あメ^{えん}ン



書いてみよう

や^やん^んで^でい^いる世^よの中^{なか}を^をい^いやし^し神^{かみ}様^{さま}のみこ^こと^とば^ばを^を黙^{もく}想^{そう}し^しな^なが^がら
下^{した}の()を^を埋^うめ^めま^まし^しょう。

お^おわ^わり^りに^に言^いい^いま^ます。()に^にあ^あっ^つて、
そ^その^の大^{たい}能^{のう}の^の力^{ちから}によ^よつ^つて^て強^{つよ}め^めら^られ^れな^なさ^さい。
()に^に対^{たい}して^{して}立^たち^ち向^むか^かう^うこ^こと^とが^がで^でき^きる^るた^ために、
神^{かみ}の()を^を身^みに^に着^きけ^けな^なさ^さい。
私^{わたし}た^たち^ちの^の格^{かく}闘^{とう}は()に^に対^{たい}する^るも^もの^ので^でな^なく、
主^{しゅ}権^{けん}、力^{ちから}、こ^この^の暗^{くら}や^やみ^みの^の世^よ界^{かい}の()た^たち、
ま^また、天^{てん}に^にい^いる^るも^もろ^ろも^もろ^ろの()に^に対^{たい}する^るも^もの^ので^です。
で^です^すから、邪^{じゃ}悪^{あく}な^な日^ひに^に際^{さい}して^{して}対^{たい}抗^{かう}で^でき^きる^るよう^{よう}に、
ま^また、い^いっ^っさ^さい^いを^を成^なし^し遂^とげ^げて、堅^{かた}く^く立^たつ^つこ^こと^とが^がで^でき^きる^るよう^{よう}に、
神^{かみ}の()を^をと^とり^りな^なさ^さい。

エペソ 6:10～13



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

Handwriting practice area for the prayer and preparation.



21

ふくいんと いのり しゅうちゅう

かようび

使徒 1章 14節 この人たちは、婦人たちやイエスの母マリヤ、およびイエスの兄弟たちとともに、みな心を合わせ、祈りに専念していた。

神様はこの時代に、初代教会からはじまった福音運動が、レムナントを通して起きることを願っておられます。3つのことを覚えて、福音と祈りに集中すれば良いのです。

1つ目、十字架で完了された(ヨハネ 19:30)福音のみことばが私に成就する集中が必要です。それとともに、私のすべてのことを祈りにつなげる祈り集中をすることも重要です。そうすれば、神様が少しずつ私をいやしてくださいます。今はまだなにも起きていないように見えますが、時がくれば実を結ぶ木のように、神様が私を育てておられます。マルコの屋上の中で契約を握って集まった弟子に、イエス様が聖霊の満たしを与えられたように「私にも24時止まることのない聖霊の満たしをください」と祈りましょう。2つ目、この祝福を私がいる所で味わいましょう。会う友だち、行く所が伝道の門になって、神様の計画を成し遂げる機会になります。3つ目、神様のみことばが成就して、弟子が起きるようになります。

このように、完了されたキリストの契約に、すべてのことを祈りでつなげて神様に集中する時間を持ちましょう。

きょうのみことば

Blank lined area for writing the daily verse.

きょうのいのり

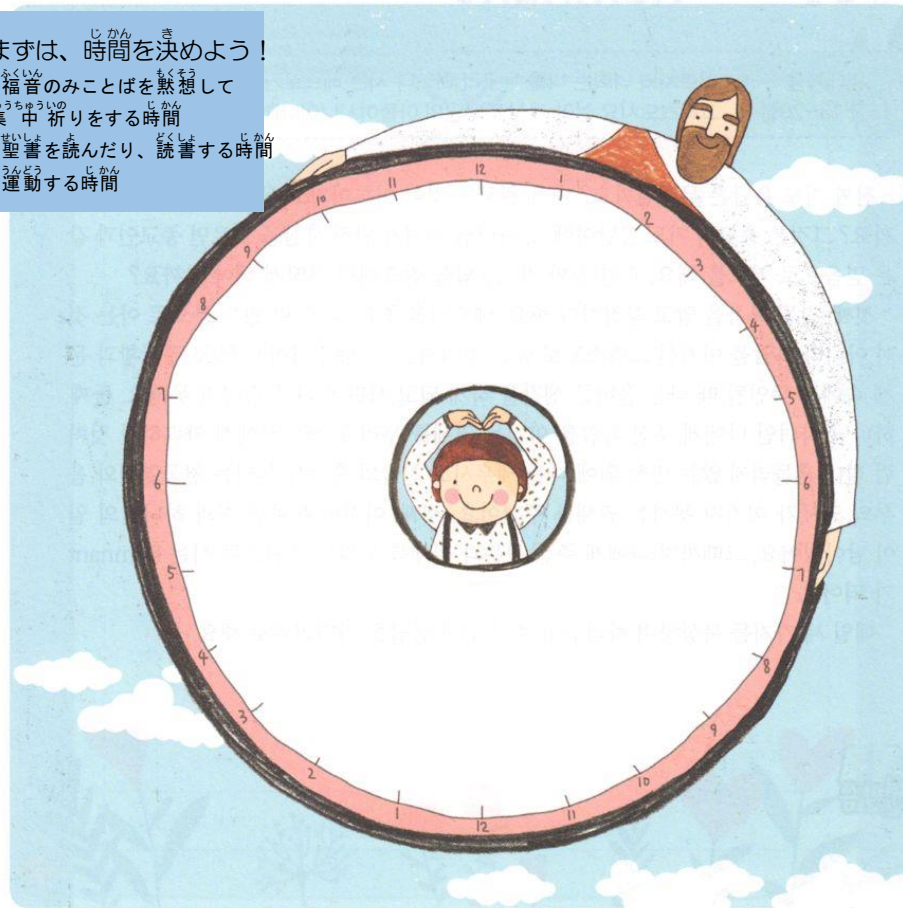
神様、ありがとうございます。初代教会の人々のように、福音の答えを味わって祈りを味わうレムナントとして伝道運動に用いられますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

私の生活の中で、福音と祈りに集中する時間を持つために確認しましょう。

みことばを適用しよう

まずは、時間を決めよう!

- 福音のみことばを黙想して集中祈りをする時間
- 聖書を読んだり、読書する時間
- 運動する時間



きょうのでんどう

あひと 会う人

じゅんび しりょう 準備する資料

Grid area for listing people to meet and materials to prepare.



22

すいようび

まことの ぶくいんと けんいを あじわう レムナント

マタイ
16章 13～20節

イエスは彼らに言われた。「あなたがたは、わたしをだれだと言いますか。」シモン・ペテロが答えて言った。「あなたは、生ける神の御子キリストです。」(15～16)

本当の祈りの答えとはなんでしょうか。私が願うままにすべてがうまくいって、問題が解決されることでしょうか。それは宗教的な祈りの答えです。神の子どもが霊的事実を知らなければ、宗教家と同じ信仰でお祈りしてしまいます。それでは、本当の祈りを受け取るためには、どうしたら良いのでしょうか。

1つ目、まことの福音を知って握らなければなりません。イエス様を良い人、力ある方だと思うのではなく、暗やみに勝たれたキリストだと信じることです。そのイエス様が私のすべての状況と問題の中で主人になるとき、私は正しく考えることができるようになるので、サタンが私をだますことができなくなります。2つ目、神の子どもでもある私に与えられた暗やみに勝つ権威を味わいましょう。ペテロに約束されたように、絶対に揺れない岩の上に私をたてて、天国の祝福を味わうことができる天国の鍵と、暗やみの力に勝つ権威が与えられました。3つ目、それだけではなく、無限の力と神様のことが残っています。そのときまで私に与えられた身分と権威を味わう証人として立つレムナントになりましょう。

毎日、3つのことを黙想して、神様から与えられる本物の答えを待ちましょう。



きょうのみことば

Blank lined area for writing the daily verse.



のいのり

神様、ありがとうございます。毎日、福音の中で、神の子どもとの身分と権威を味わって、限らない力と神様のことを待つことができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



みことばを
適用しよう

きょうのみことばをもういちど黙想して、心に残った
単語を使って祈りの文を書きましょう。

Large decorative area with a purple border, a white dashed-line box, and floral illustrations at the bottom.



のでんどう

あひと
会う人

Green grid area for writing the church name.

じゅんび
準備する資料

Green grid area for writing preparation materials.



23

もくようび

まことの しんでん かいふくの ビジョン

マタイ
17章1~9節

すると、イエスが来られて、彼らに手を触れ、「起きなさい。こわがることはない」と言われた。それで、彼らが目を上げて見ると、だれもいなくて、ただイエスおひとりだけであった。彼らが山を降りるとき、イエスは彼らに、「人の子が死人の中からよみがえるときまでは、いま見た幻をだれにも話してはならない」と命じられた。(7~9)

まだ遠くにあること、未来のことを手繰り寄せて、確実な絵として描いたものをビジョンと言います。たとえば、たくさん勉強してこそ合格するテストを受けなくてはならないとき、すべてを完璧に暗記することができれば、テストは良くできるでしょう。同じように、まことの神殿を回復する契約を、教会を通して神様から与えられる契約として受けるとき、私のビジョンははっきりとしたものになるでしょう。その神殿とはどんな姿でしょうか。

1つ目、単なる礼拝をささげる神殿ではなく、暗やみ文化を砕く神殿です。出エジプトの10の奇跡も、エジプトの暗やみ文化を砕く戦いでした。2つ目、旧約に預言されたキリストが成就される神殿です。創世記3章15節の女の子孫であり、創世記6章14節の箱舟であるキリストを全世界237か国に知らせる教会になることを祈りましょう。3つ目、教会が失ったレムナントと未信者、多民族を生かす神殿です。このビジョンを自分のこととして抱くレムナントを通して、神様がいやしとサミットを生かす神殿を回復してくださるでしょう。

今日のめことば

Blank lined area for writing the daily verse.

今日のいのり

神様、ありがとうございます。神様が教会を通してなされることを確実な絵として心に刻みますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



今月の悩みをいっしょに見ましょう!



バク・ウヨン牧師夫人!
私、なやんでいます!

どうすればタラントを見つけられますか。
大人たちは、タラントを発見してこそ、
自分だけの唯一性を見つけることが
できると言うのだけど...

多くの人は持って生まれた自分の才能、強みとなる場所を指してタラントと言います。しかし、聖書で言うタラントとは、福音に集中して、福音が刻印されたときに発見できることです(マタイ25:14~30)。神様から与えられたタラントを見つけたいと、私に与えられたタラントは何ですかと質問して待っているなら、正確な時刻表に、そのタラントを発見することになります。私たちが生まれる前から、神様は私たちをご存知で、お母さんのお腹から出る前にすでに私たちのことを定められたと言われているからです(エレミヤ1:5)。そして、その神様は私たちの願うところ、慰うところのすべてを越えて豊かに施すことのできる方だからです。(エペソ3:20)

このような聖書の事実とともに、よく観察するべきことがあります。好きで得意なこと、ほめられること、楽しくて時間が過ぎるのがわからないほど熱中できること、他の人には難しいことなのに私には簡単にできることなどについてです。その中に、私だけのタラントが隠れています。(ただし!あなたが夢中になっているゲームや遊びはタラントではありません。)

タラントは、両親や環境の影響を受けて完成する場合があります。たとえば歌が上手で、たくさん作品を残しているような両親をもつ子どもは、やはりそのようなタラントを持つ可能性が高いと言えるでしょう。しかし、そのような両親を側で見て育ち、指導を受けてたくさん努力をしたにも関わらず、上位10%に入ることができないときは、他の分野に、上位10%に入るその子のタラントが、たしかに隠されています。

なによりもまず、私よりも私をよくご存じである神様と、毎日24時間疎通しながら見つける答えを求めましょう!

今日のでんどう

Blank grid area for writing the daily prayer.

会う人

準備する資料

Blank lined area for writing preparation materials.

24

いのりと みことばの うつわ

きんようび

黙示
8章 3~5節

また、もうひとりの御使いが出て来て、金の香炉を持って祭壇のところに立った。彼にたくさんの香が与えられた。すべての聖徒の祈りとともに、御座の前にある金の祭壇の上にささげるためであった。香の煙は、聖徒たちの祈りとともに、御使いの手から神の御前に立ち上った。それから、御使いは、その香炉を取り、祭壇の火でそれを満たしてから、地に投げつけた。すると、雷鳴と声といわずまと地震が起こった。

見えない部分である私たちの霊的状态が正常ならば、どんなことが起きても関係ありません。たとえば、どんなに新しい車であっても、その車のエンジンが故障しているのなら、使い道のない車になります。しかし、どんなに見た目がポロポロでもエンジンがだいじょうぶならば、その車はしっかりと走ることができるでしょう。

あるときは毎日が幸せいっぱい、伝道が成り立つ祝福を味わっているように思うことがあります。反対に、答えがなく、私だけが苦しみを経験しているように思える時間があったりもします。しかし、神様は、福音の中にいれば、結局、勝利すると約束してくださいました。これが表面に現れる答えよりも、見えない私たちの霊的状态が重要な理由です。それゆえ、私たちはどこにいても、ひとりで福音を味わうことができなければなりません。毎日、3つのことをすれば良いです。朝に<子どもの祈りの手帳>を黙想して、私の一日のスケジュールをもって祈りましょう。昼の間、学校にいるときに起きるすべてのことを祈りにしましょう。夜には、みことばを読んで、メッセージを聞く、深い集中時間を持ちましょう。このように毎日3つの時間を通して、祈りとみことばの器を整えるならば、私の未来を心配する必要もないほどに、神様が私を導いてくださるでしょう。

今日のみのことば

今日のいのり

神様、ありがとうございます。私の現場でひとりでも勝利する霊的状态になるように祈りとみことばの器をもって一日を過ごせるように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



みことばを
てきよう
適用しよう

2020年新しい年の最初の月に、祈りとみことばの器を整えながら、私に与えられた感謝することを考えて5つ書きましょう。



今日のでんどう

あひと
会う人

じゆんび
準備する資料

Blank lines for writing names and preparation materials.

キリストの ひかりを てらす でんどう

マタイ 5章 13~15節

あなたがたは、地の塩です。もし塩が塩けをなくしたら、何によって塩けをつけるのでしよう。もう何の役にも立たず、外に捨てられて、人々に踏みつけられるだけです。あなたがたは、世界の光です。山の上にある町は隠れる事ができません。また、あかりをつけて、それを楯の下に置く者はありません。燭台の上に置きます。そうすれば、家にいる人々全部を照らします。

伝道は友だちに福音であるイエス・キリストを伝えることです。これには、それよりさらに重要な意味があります。サタンの国を神の国に変える、いのち運動だということです。言い換えれば、暗やみに陥った人を救って、サタンがもたらした運命から抜け出すようにする驚くべきことなのです。伝道は難しくありません。暗やみに光を照らすことであるからです。私の中におられるイエス様が、すでに世の光です。この福音を持つひとりが、家族、家系を生かすことになります。また、使徒の働きやピリポ執事とアナニヤ執事のように、地域を生かすことになります。また、ヨセフ、パウロのように、国と全世界を生かすことになります。

伝道は歴史を動かす「てこ」です。「この御国の福音は全世界に宣べ伝えられて、すべての国民にあかされ、それから、終わりの日が来ます。」(マタイ 24:14)と言われたとおり、伝道者の歩みを通してこのことを成し遂げてくださいます。毎日、祈りとみことばの器を備える時間を持つとき、いのちであるキリストを伝える伝道の祝福が私のことになるでしょう。

どうぶのみことば

どうぶのいのり

神様、ありがとうございます。この世にいのちの光を照らすために、福音があかされる祝福を味わうことに私を用いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



子どものうつ病がどんどん増えている時代です。うつ病になっている友だちがいるなら、次のページのトラクトを作って渡してまことの幸せを伝えてあげてください。



次のページのすべての絵を実線で切り抜いて、点線でおります



絵と字の紙を表裏にのりではりあわせませす



長い帯をカードに巻いて、止める部分にハートのかたちをはりませす。伝道トラクトができました！



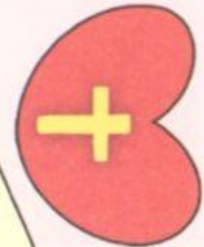
どうぶのでんどう

あひと
会う人

じゅんぶ
準備する資料

Jesus is the Christ Son of Living God

おん
1年をはじめる
おく てがみ
あなたに送る手紙



1月は、新しい年がはじまる月です。
多くの人々は、新しい年の計画をたてて、がんばろうと決意します。

でも、人は神様に会わないなら
結局、自分の運命どおりに生きるしかありません。

しかしキリストであるイエス様に会うなら、神の子どもになって
私とともにおられる神様と幸せな旅程を歩むことができます。
そして運命、運勢、のろい、わざわいを完全に終わらせてくださった
イエス・キリストが、私の主人になって、神様が守ってくださる
御手の中になるようになります。

いまイエス様が、その祝福の中にあなを招いておられます。

受け入れの祈りを心からするなら、
その祝福をいっしょに味わえるようになります。

受け入れの祈り

神様、私は罪人です。いままで神様から離れ
神様を知らずに生きてきました。そんな私のために
イエス様が身代わりになって十字架について死んでくださり、
よみがえって私の主人として来てくださったことを信じます。

いま心の門を開きます。心に入ってきてください。
永遠に私の主人になって、私の生活を導いてください。
神様とともに生きる新しい年をはじめられますように。
生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。

アーメン

おめでとう！イエス・キリストがあなたの人生の主人になりました！
これからは、イエス様があなたをいっしょに安全な道に
導いてくださいます。

